

## 世界三大記念艦「三笠」の見学会の開催

一般社団法人 東京都計量協会ではコロナ禍から開催を見送っていた見学会及び会員交流会を 10 月 12 日に次のとおり開催した。

見学会は当初、海上自衛隊横須賀基地の艦艇を見学することで準備を進めていたが、直前に自衛隊側の事情から困難となり、急遽、三大記念艦「三笠」の見学となった。当日は絵にかいたような秋日和で、横須賀「汐入駅」に 13 時 30 分集合、タクシーに分乗し三笠公園内の戦艦「三笠」へ、参加者は 24 名であった。艦内では自衛官から日ロ海戦の様子、三笠活躍等の説明があり、紹介ビデオを見た後、館内を自由に見学。

三笠は明治 35 年（1902 年）にイギリスで建造され、明治 38 年の日露戦争・日本海海戦では東郷平八郎司令長官が乗艦する連合艦隊の旗艦として活躍した。艦内の展示室には旧海軍の制服や装備、日露戦争関連の展示のほか、司令長官の公室、参謀長室、艦長室などが復元され、指揮塔に上ると、日本海海戦の最中、東郷司令長官が 5 時間立ち続けたといわれる位置に足跡が示されるなど、当時にタイムスリップした感であった。参加者からは現役の艦艇には乗りたかったが、これはこれで見ごたえ十分との感想が多く聞かれた見学会であった。

この後、場所を横浜中華街に移し 17 時から会員交流会を開催した。小川会長の挨拶と乾杯ではじまり、参加者の事業への取組、趣味、健康法等広範な話題について交流・親睦が図られ、話が尽きない中 19 時過ぎに横山副会長の三本締めで終了した。



